



ほけんだより 11月号



令和6年11月1日
粉河保育園
看護師 山田 昇子

朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。冬を迎える準備をしていく季節です。うがい・手洗い、栄養バランスのとれた食事、十分な換気と睡眠で、ウイルスを寄せつけない生活を心がけましょう。



新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応

厚生労働省より、今年の冬は

- ◇新型コロナウイルス感染症: 今年の夏を上回る感染拡大が生じる可能性
- ◇季節性インフルエンザ : 流行する可能性

受診を迷った場合
夜間や休日の場合

より多くの発熱患者が同時に生じる可能性

電話相談窓口などをご利用ください。

☎ #8000(こども医療相談)

和歌山県救急医療情報センター

(24 時間体制で最寄りの医療機関を案内)

☎ 073-426-1199

喉の痛みや発熱などの症状が出たら・・・

子どもの場合、症状は年齢などによって様々です。機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。

2歳未満では新型コロナ、5歳未満ではインフルエンザ、基礎疾患のある子どもは年齢にかかわらず両方の重症化リスクがありますので、心配なことがあれば、予めかかりつけ医と対応を相談しておきましょう。



感染予防



マスク

手洗い

うがい

Attention!

MR の追加接種を受けましょう

6月のほけんだよりでもお知らせしましたが、年長児さんは MR(麻しん・風しん混合ワクチン)の2回目の接種時期です。まだ未接種の方は、令和7年3月31日までに追加接種を受けましょう。

お腹の風邪 = ウイルス性胃腸炎 !!

これからの季節気をつけていきたいのは

「ウイルス性胃腸炎」です!!

下痢症状があり、病院を受診して、**お腹の風邪**ですねと言われる方も多いと思います。ウイルス性胃腸炎にはノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルスなどがあります。感染により拡大するものがほとんどです。

保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)にも24時間以内に複数回の水様便がある、食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする、下痢と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合は登園を控えるのが望ましいと言われています。

下痢症状がある場合は、上記を目安に子どもの体調を整えていただきたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

